

～幻の手控え帳と拓本資料～



- ※部分・画像は当館で加工

9月26日(土)～11月2日(月)

帝塚山大学附属博物館



「奈良学」の先駆者・高田十郎 ～幻の手控え帳と拓本資料～

奈良のすべてがここにある！

高田十郎（1881～1952）は奈良県師範学校で教鞭を執りつつ奈良郷土会を組織し、奈良を中心に地域史・民俗学・美術史など、人文の諸分野にわたる旺盛な調査と発信を展開した、まさに「奈良学」の先駆者ともいえる人物です。たとえば高田は、個人雑誌『なら』をガリ版刷りで作成、奈良の各地での見聞を発信するとともに、県外の学者や在野研究者とも交友をはぐくんできました。愛読者の一人だった柳田国男は、高田を「名代の筆豆」とたたえています。

一方、高田が約45年間書き続けた手控え帳『奈良雑筆』は当時の研究者の間で存在が言及されていましたが、未刊のまま幻の存在となっていました。しかし近年、その自筆資料数百点の所在が判明し、本学で調査を行い、デジタル化を進めています。

本展示では幻の『奈良雑筆』や高田が調査で収集した拓本資料等を展示し、「奈良学」の先駆者のいとなみを再評価するとともに、その膨大に蓄積された情報から見える大正～昭和時代の奈良を紹介いたします。

主な展示品



▲『奈良雑筆』（一部）／高田十郎 手稿
明治42年（1909）～／個人蔵



▲洞の地藏石仏（建長6年銘）拓本〔部分〕／高田十郎 手拓
大正5年（1916）／個人蔵

企画展関連講座

①第561回市民大学講座

『奈良学』の先駆者・高田十郎の魅力（1） —仏教美術史からみる『奈良雑筆』と拓本の世界—

講師：杉崎 貴英（帝塚山大学文学部教授）
日時：10月3日（土）14時～15時30分
受付開始：9月14日（月）9時30分

②第562回市民大学講座

『奈良学』の先駆者・高田十郎の魅力（2） —民俗学からみる『奈良雑筆』の世界—

講師：西連寺 匠（帝塚山大学文学部講師・附属博物館学芸員）
日時：10月31日（土）14時～15時30分
受付開始：10月12日（月）9時30分

- 場 所：帝塚山大学東生駒キャンパス 5号館5104教室
- 申込方法：附属博物館ホームページ
「市民大学講座」の申し込みフォームにて受付
- 定 員：申込予約席100席、当日席50席（聴講無料）
※当日席は定員が超過した場合、受講できない可能性があります。

帝塚山大学附属博物館

〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1
TEL 0742-48-9700 FAX 0742-48-8783
<https://www.tezukayama-u.ac.jp/museum/>

【開館時間】午前9時30分～午後4時30分

【休館日】日曜日

【入館料】無料

※開館日時に変更等が生じる場合には、ホームページ等で随時ご案内いたします。



企画展 HP



市民大学講座申し込み



【アクセス】

ご来館には公共交通機関をご利用ください。
近鉄奈良線「東生駒」駅下車、
「帝塚山大学」行きバス下車
約3分、「帝塚山住宅」行き
バス「東生駒一丁目東」下車
約5分、徒歩20分。

